

2016年度アート・ドキュメンテーション学会年次大会 & シンポジウム

文化財と写真-現物と複製 その境界を越えて-

+ 公募研究会・総会

2016年 6月 11(土)12(日) 奈良国立博物館 東新館講堂



なら仏像館・青銅器館(4/29リニューアルオープン「名品展:珠玉の仏たち」開催中)

写真の誕生以来、文化財は重要な被写体の一つとなり、現在までに様々な文化財が写真におさめられてきました。また近年では、それらの文化財を写した写真自体が新たな文化財として認識されるようになり、文化財写真のデジタル化も各方面で進展しています。本シンポジウムでは多面的な側面を持つ文化財写真が、今後どのように継承されていくかを展望します。

第1日目(6月11日)

12:30~ 受付開始 13:00~ オープニング

13:10~13:40

高橋則英(日本大学)「文化財としての写真-その記録性と継承」

13:40~14:05

田良島哲(東京国立博物館)「『もの』としての文化財写真」

14:15~14:35

川瀬敏雄(堀内カラー)「文化財のデジタル画像とその品質」

14:35~14:55

中上喜夫(日本写真印刷)「デジタル時代の文化財と印刷」

14:55~15:10

宮崎幹子(奈良国立博物館)「仏教美術資料研究
センターと文化財写真アーカイブズ」



仏教美術資料研究センター

15:10~16:00

仏教美術資料研究センター見学会(会員のみ)

16:00~17:00

パネルディスカッション 司会: 研谷紀夫(関西大学)

17:10~17:50

野上紘子記念アート・ドキュメンテーション学会賞・推進賞授賞式

18:00~

懇親会(博物館内レストランにて)

参加費:(資料代込み・懇親会は別途)会員1,000円(学生会員500円)、非会員2,000円(学生1,000円)
事前予約が必要です <https://goo.gl/231q5K> (シンポジウムは先着80名まで、見学会は先着50名まで)

第2日目 (6月12日) 公募研究会および学会総会

会場 : 奈良国立博物館 東新館講堂
日時 : 2016年 6月 12日(日) 09:45～
参加費 : 研究会は有料(料金は1-2日目共通ですので表面をご覧ください)

■公募研究会

※発表タイトル・時間は変更することがあります。

09:25～ 受付

09:45～(発表20分 質疑5分)

ミュージアム・アーカイブズ資料としての独日航空技術文書について
筒井弥生

経験のデザイン:文化財の高精細画像を活用した展示演出-雪舟の見た風景を探る
向井知子(日本大学 芸術学部デザイン学科)

歴史芸術文化遺産の3Dデジタル資源化とその活用
山口欧志・山路正憲(立命館大学 衣笠総合研究機構)

研究アーカイブとデータベース:「研究来歴(Research Provenance)」の蓄積と活用
本間友(慶應義塾大学 アート・センター)

専門分野別研究資源ポータルデータベースと相互リンクによるユーザビリティ
赤間亮(立命館大学 アート・リサーチセンター)

文化財デジタルアーカイブにおけるメタデータ蓄積の効率化システムについて
山路正憲(立命館大学 衣笠総合研究機構/アート・リサーチセンター)

身装画像データベース<近代日本の身装文化>:画像データの特性と検索システムの構築
高橋晴子(国立民族学博物館)丸川雄三(国立民族学博物館)

■学会総会

14:00～

奈良国立博物館 東新館 講堂

奈良国立博物館

近鉄奈良駅下車 登大路町を東へ徒歩約15分
JR奈良駅または近鉄奈良駅から市内循環バス外回り(2番)
「氷室神社・国立博物館」バス停下車すぐ

なら仏像館・青銅器館(4月29日リニューアルオープン「名品展:珠玉の仏たち」開催中)



■協力:奈良国立博物館

■後援:記録管理学会/日本アーカイブズ学会/日本デジタル・ヒューマニティーズ学会/一般社団法人情報処理学会CH(人文科学とコンピュータ研究会)研究会/美術史学会/全国美術館会議/情報知識学会/日本ミュージアム・マネジメント学会/関西大学
(1日目のシンポジウムのみ) JSPS科研費:26330373